

五條新宮道路(国道168号)の重点整備

【提案・要望先】 財務省、国土交通省

提案・要望事項

1. 国道168号

- ・五條新宮道路は、近畿自動車道紀勢線及び京奈和自動車道と一体となって、紀伊半島の骨格を形成する地域高規格道路。
- ・南和地域において、観光をはじめ、地場産業の振興、地域活性化に寄与する重要な道路。
- ・五條市(旧西吉野村、旧大塔村)、十津川村及び野迫川村にとっては、唯一の南北幹線道路であり、緊急医療の支援や、東海・東南海・南海地震等の大規模災害時の緊急輸送道路として重要な役割を担う、まさに「命の道」。

[県事業]

- ・辻堂バイパス
(五條市大塔町小代～宇井)
- ・川津道路
(十津川村上野地～川津)
- ・旭口道路
(十津川村旭口)

[直轄代行事業]

- ・十津川道路
(十津川村小原～平谷)

・迂回路が無く、かつ未だ自動車同士のすれ違いが困難な幹線道路である国道168号において、安全・安心な道路交通の確保を図る上で信頼性に問題がある箇所への予算の重点的な確保及び所要の調査費の確保を要望する。



平成20年11月

奈良県知事

荒井正吾

現状と問題点

日常・緊急医療にとっても大事な国道168号



十津川村や田辺市本宮地域の住民が入院や通院する場合、最寄りの2次救急医療施設である新宮市立医療センターまで行かなければなりません。十津川村の中心からはおよそ1時間半、田辺市本宮地域からは40分ほど掛かります。安心して暮らすことのできる道路とは決していえません。

新宮市立医療センター通院患者のべ人数（平成19年度）

	通院	入院
十津川村	2,626人	2,105人
田辺市 本宮地域	3,394人	2,788人

～人工透析患者の声～

十津川村から通院先の新宮市立医療センターまでおよそ1時間30分ほどの時間を掛けて人工透析を受けています。私たち患者にとっては、病院までの国道168号は大変重要な生命線です。五條新宮道路が完成すると所要時間が短縮されるとともに、災害にも強い道路になると聞いています。一日も早い完成を期待しています。

（十津川村在住）

脆弱な国道168号、通行止めが頻繁に発生

日付	規制区間	規制時間
平成19年7月14日	十津川村七色～五條市大塔町宇井	18時間
平成19年7月11日	十津川村 長殿	3時間20分
平成19年7月10日	大塔町内・十津川村内	20時間
平成19年7月3日	十津川村 折立	5時間10分
平成19年5月2日	十津川村 折立	391時間5分
平成18年12月15日	十津川村 野尻	1時間45分
平成18年11月4日	十津川村 折立	7時間50分
平成18年10月31日	十津川村 折立	10時間30分
平成18年8月31日	十津川村 上野地～宇宮原	285時間
平成18年8月26日	五條市大塔町宇井～五條市生子町	1時間30分
平成18年8月22日	十津川村七色～五條市大塔町天辻	14時間10分
平成18年7月5日	十津川村七色～五條市大塔町宇井	7時間45分
平成18年5月26日	十津川村 小原(滝)	83時間20分
平成18年5月20日	十津川村 小原(滝)	138時間
平成18年3月13日	大塔町小代	およそ2年1ヶ月
平成17年10月10日	十津川村 小原(滝)	およそ2週間
平成17年10月7日	十津川村 小原(滝)	26時間
平成17年9月6日	十津川村内全域	34時間40分
平成17年8月25日	十津川村 小原(滝)	4時間20分

[参考]

H20.10.17の落石・崩土により

- ・70分以上(約30km)の迂回が必要
- ・子供の通学を船で緊急輸送
- ・十津川温泉(昴の郷)のキャンセル308人

